

令和5年10月実施

事業所名 和こう

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない 無回答	ご意見
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	89.6%	10.3%	0.0%	0.0%	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	93.1%	3.5%	3.5%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも職員が足りていない印象があり、提出した書類が回収されずに返却されたり、書類の不備が多い ・また、後から電話で連絡修正されることもある
	3	本人にわかりやすい構造化された環境(a)になっているか。また、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	96.6%	0.0%	0.0%	3.5%	
	4	清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の意活動に合わせた空間となっているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が分析され、児童発達支援計画（以下、「支援計画」）(b)が作成されているか。	96.6%	3.5%	0.0%	0.0%	
	6	支援計画には児童発達支援ガイドラインに基づき、「発達支援」「家族支援」「地域支援」と必要な支援が選択され、具体的な支援内容が設定されているか	93.1%	6.9%	0.0%	0.0%	
	7	支援計画に沿った支援が行われているか	96.6%	3.5%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を定め、和こうで実践した結果が家庭での支援にも反映することができる時があり、嬉しく思う ・多忙で児としっかりと関わっていないのだろうと印象を受ける ・支援計画も変更なく、同じ内容のまま継続していくのだと思う
	8	活動プログラム(c)が固定化しないよう工夫されているか	93.1%	6.9%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・発達支援としてどのようなプログラムがあり、どう実践しているのか、またプログラムに対して参加スタッフのエビデンスへの理解があるのか疑問に思う ・また、保護者に対しての説明を希望している
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	44.9%	41.4%	13.8%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・交流をする機会があるのかどうかわからない ・和こうでは機会がないが、併用しているこども園では交流の機会がある
保護者 への 説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）(d)が行われているか	65.5%	27.6%	3.5%	3.5%	<ul style="list-style-type: none"> ・個人的に市主催のプログラムに参加した経験があり、とても有用と感じたため、今ある社会資源・市の取り組みをチラシ等で周知しても良いのではないかと思う
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任の職員だけではなく、他のクラス職員に対しても必要な情報が共有されていると感じる
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	96.6%	3.5%	0.0%	0.0%	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催により保護者同士の連携が支援されているか	89.7%	10.3%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者参加の行事が増えると嬉しい

保護者への説明等	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・相談事に対して迅速に対応してもらい感謝している
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	96.6%	3.5%	0.0%	0.0%	・細やかな連絡をいつもくださり、とても安心している
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	96.6%	3.5%	0.0%	0.0%	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	86.2%	13.8%	0.0%	0.0%	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	79.3%	20.7%	0.0%	0.0%	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	96.6%	3.5%	0.0%	0.0%	・利用曜日は楽しみにする姿が見られている ・家で過ごすことが好きなため、登園時に行き渋りがある時もあるが、降園時には嬉しそうな笑顔がよく見られている ・とても楽しみにしており、利用曜日には張り切る姿が見られている
	23	事業所の支援に満足しているか	96.6%	3.5%	0.0%	0.0%	・とても満足し、感謝している

アンケート配布人数 33人 回収人数 29人 回収率 87%

- (a) 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。
- (b) 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。
- (c) 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。
- (d) 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。